

〔平成23年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、汚水処理事業として平成22年度から着手した流域関連公共下水道事業の第3期事業において、汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を行いました。宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では公共汚水ますの設置工事を行いました。

雨水対策事業としては、ポンプ場の場内整備工事等を行いました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や戸別訪問等による普及啓発に努めました。また、小俣町の一部の汚水処理を行っていた小俣浄化センターについて、今後の財政負担を考慮し事業経営の効率化を図るため、平成23年8月に宮川流域下水道宮川浄化センターに接続替えを行いました。

1. 経営成績

(単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	2,247,711
収益的支出	2,337,924
当年度純損失()	90,213
前年度繰越欠損金()	309,343
当年度未処理欠損金()	399,556

2. 財政状態

(単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	63,960,778	負 債	725,590
固定資産	61,337,408	固定負債	18,766
流動資産	2,623,370	流動負債	706,824
		資 本 金	35,785,264
		自己資本金	5,566,386
		借入資本金	30,218,878
		剰 余 金	27,449,924
		資本剰余金	27,849,480
		欠損金()	399,556
合 計	63,960,778	合 計	63,960,778

3.業務量の概要

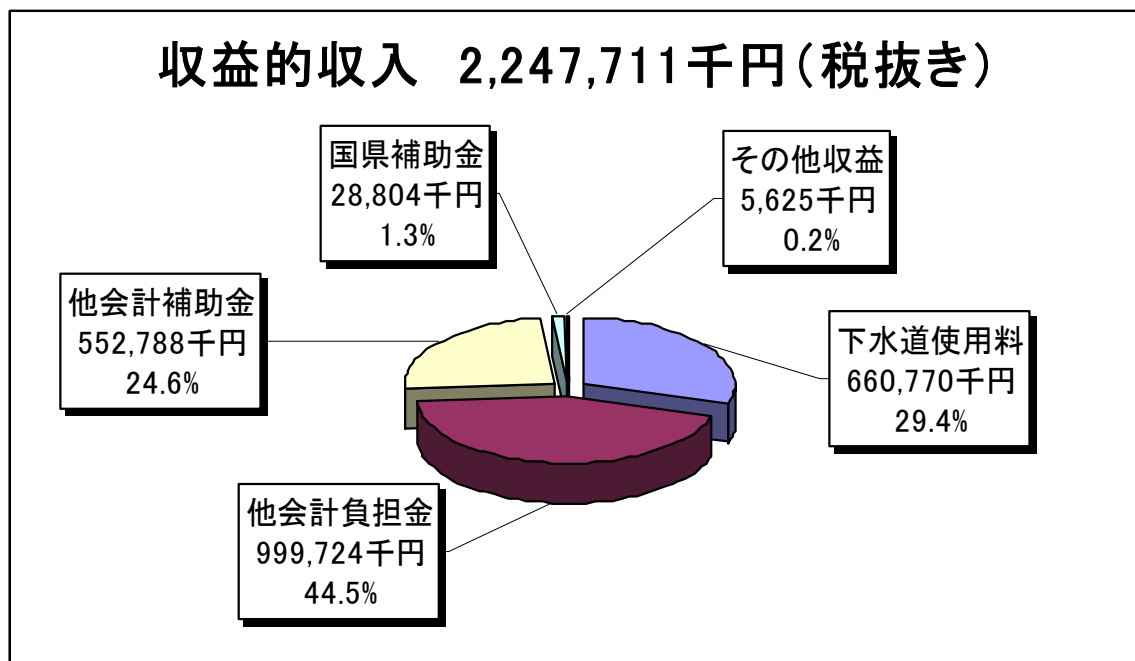
項 目	平成 23 年度	平成 22 年度	比 較	
			増・()減	比 率
行政区域内人口 A 人	132,899	133,527	628	99.5%
処理区域面積 ha	1,372.9	1,342.9	30.0	102.2%
污水管渠布設延長 m	325,951	316,469	9,482	103.0%
処理区域内戸数 戸	21,804	20,162	1,642	108.1%
処理区域内人口 B 人	54,767	50,865	3,902	107.7%
水洗化戸数 戸	15,652	14,127	1,525	110.8%
水洗化人口 C 人	39,107	35,467	3,640	110.3%
普及率 B / A %	41.2	38.1	3.1	-
水洗化率 C / B %	71.4	69.7	1.7	-
処理水量 D m ³ /年	4,794,593	4,452,870	341,723	107.7%
有収水量 E m ³ /年	4,591,805	4,228,142	363,663	108.6%
有収率 E / D %	95.8	95.0	0.8	-
雨水管渠布設延長 m	10,517	10,517	0	100.0%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,102.8	1,592.2	489.4	69.3%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

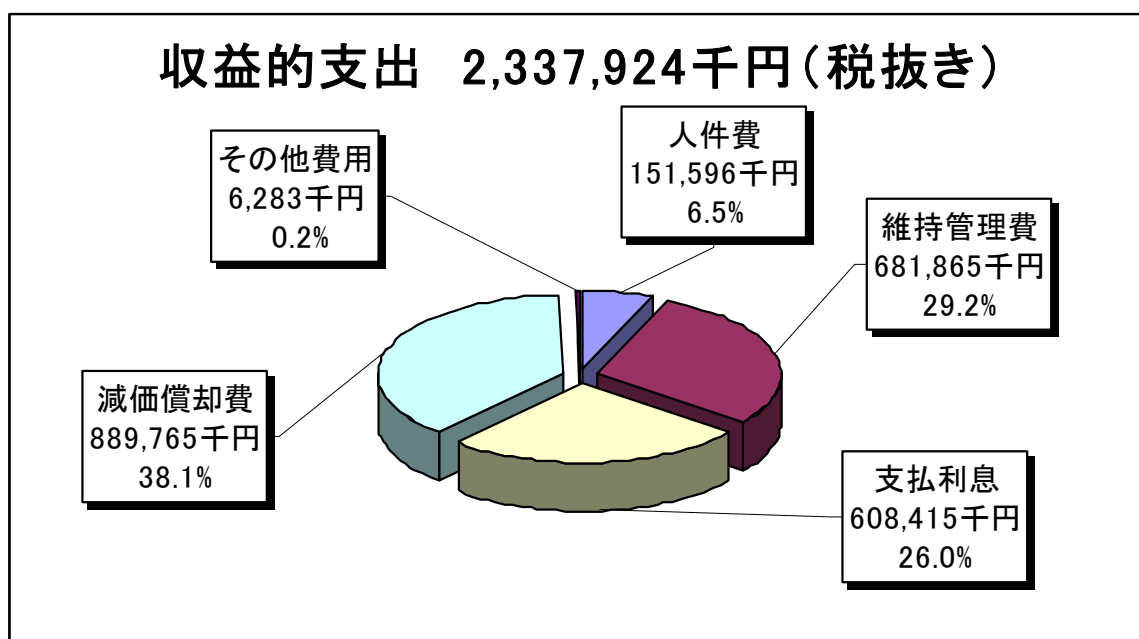
収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金等で構成しています。



収益的支出

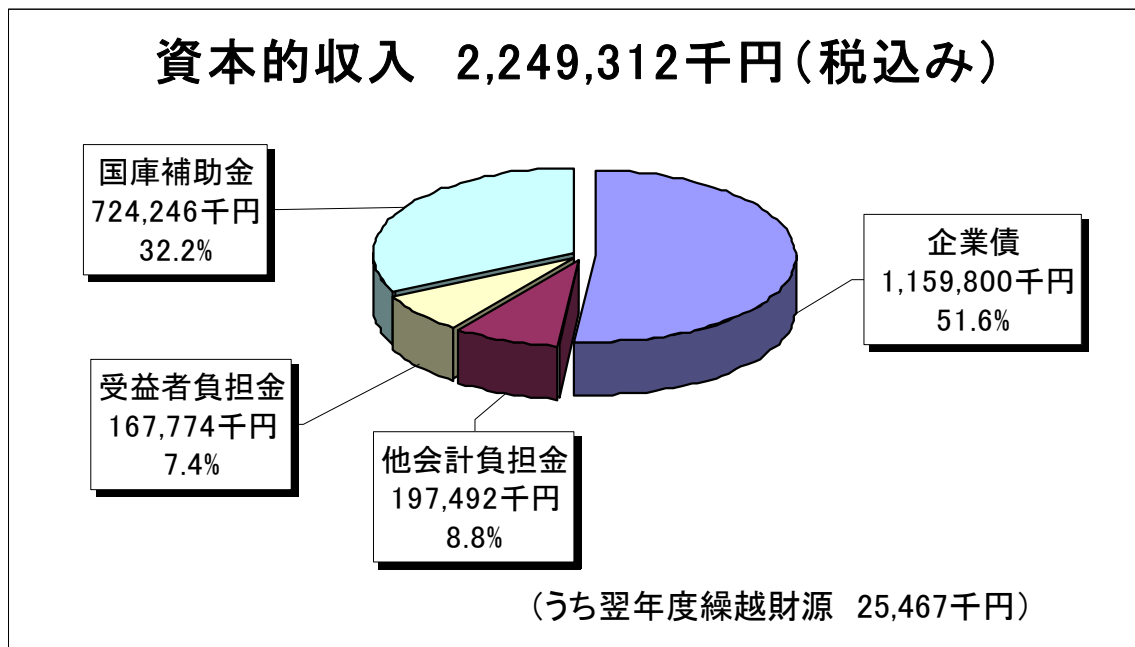
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

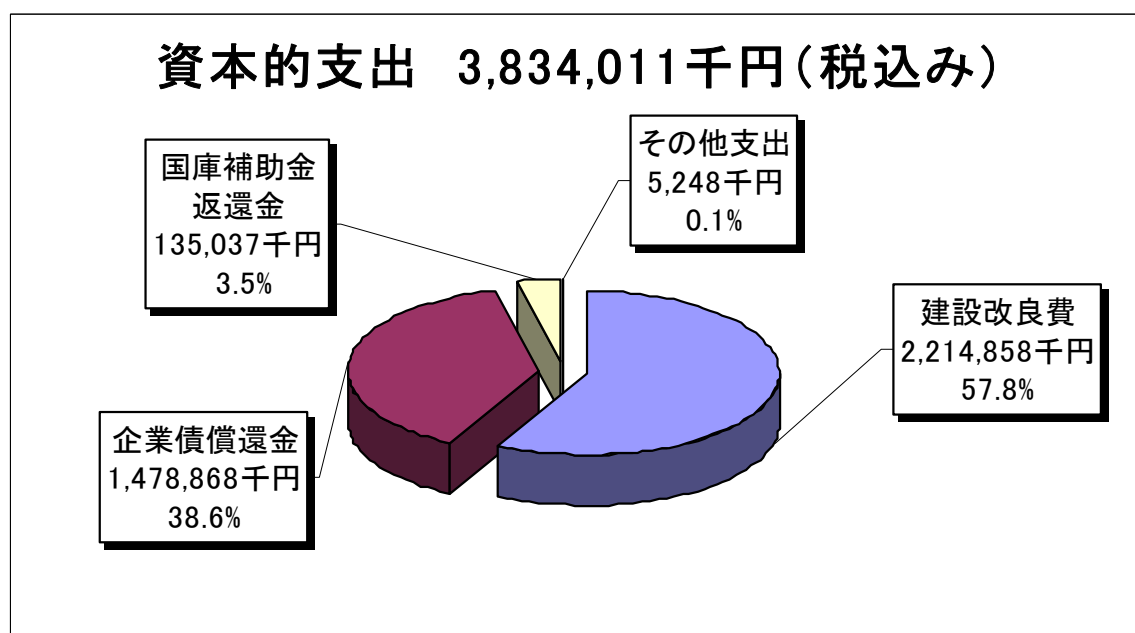
資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金で構成しています。



資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 25,467 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,610,166 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 51,249 千円、繰越工事資金 94,278 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,464,639 千円で補てんしました。